

人々の暮らしと自然を守る植林 in ラオス

ルアンパバン県での植林事業は、現地の人々が主体となり継続して行われています。昨年度より農業局と協力して行ってきた果樹の増殖活動では、指導を受けた村人が村内だけでなく、他の村や県にも技術指導を行うようになりました。昨年8月にルアンパバンを襲った洪水により、増殖を行った苗木の多くが枯れてしまった村もありましたが、「洪水がなければ成功したはず。失敗にめげず何度でもチャレンジしたい」という村人の力強い声を聞くことができました。



植林した木を世話する住人

ある村では、ダム建設の影響で、5年かけ作り上げたみかん農園をあと1年で放棄しなくてはならないため、村人は増殖活動に意欲を見せています。開発等で立ち退きを余儀なくされる住民がこうした技術を習得することで、その後の生活の見通しをたてるのが可能になります。今後も、地域の人々が自ら地域社会を良くしていけるよう支援をしていきます。

国際協カイベント



毎年開催される国際協カイベント「グローバルフェスタ JAPAN2016(お台場)」、「よこはま国際フェスタ 2016(グランモール公園)」に出展し、写真展示だけでなく、コインパスポートのワークショップを通して、国連ハビタットと日本ハビタット協会が行っている居住環境改善事業を広報しました。

福岡の天神中央公園で開催された「地球市民どんたく 2016」では、写真展示やトイレクイズだけでなく、古い木材や布を使い途上国のトイレを再現し、実際に中に入って体験してもらいました。世界の衛生環境の実情の話聞いた多くの来場者から驚きの声があがりました。日本ハビタット協会が実施しているケニアでの衛生環境改善事業を知っていただく良い機会となりました。

ボランティアデー

毎月第1・3火曜日に千代田ボランティアセンターにて、外貨コイン仕分け活動を行っています。空港の募金箱に寄せられたさまざまなコインと紙幣を国別に仕分けします。千代田区内の市民や企業の方々をはじめ、区外からもたくさんの方のボランティアのみなさまが参加され、毎回とても賑やかに活動しています。どなたでもご参加頂けますので、お待ちしております。



日時 毎週第1・3火曜日 13:00～16:00 ※月によって変更有り。あらかじめお問い合わせ下さい。※ご都合良い時間帯でご参加頂けます。

場所 かがやきプラザ4階 千代田ボランティアセンター内 会議室 **お問い合わせ** NPO 法人日本ハビタット協会 TEL: 03-3512-0355

企業ボランティア

外貨コイン仕分け活動に多くの企業ボランティアが参加しています。火曜日に開催しているボランティアデーの参加だけでなく、企業内で就業後や休み時間を利用して、社員のみなさんが外貨コイン仕分けに協力して下さっています。また、夏休みなどには家族向けのワークショップも開催しています。全労済で夏休みを利用して開催されたワークショップでは、外貨コイン仕分けをしながら、子ども達は自由研究として、さまざまな国のコインや紙幣の特徴を学びました。

★★ ご協力いただきありがとうございます ★★ 2016年7月1日～2016年11月 (敬称略・順不同)

ご寄付 国際ソロプチミスト 熊本一さくら、福岡空港ビルディング(株)、熊本空港ビルディング(株)、(株)新橋スタンプ商会、成田国際空港(株)、関西国際空港(株)、東京国際空港ターミナル(株)、北海道空港(株)、中部国際空港(株)、博多港開発・西部ガス共同事業体、熊本空港ビルディング(株)、那覇空港ビルディング(株)、ハート薬局、よこやま外科乳腺クリニック、日本メドトロニック(株)、コヴィディエンジャパン(株)、小林英俊、岡部 兎子、笠 留美子、鎌滝 たみ子、丸井 聡、(有)岩田時計店、菊地 柳秀、菊池 ヨネ子、兼平 剛志、原田 義信、佐藤 公男、山口 実知子、勝又 宏幸、小林 一、松井 昌子、松本 賢次、常光 テエ子、森 多賀子、石井 清俊、川上 五郎、村野 啓子、珈琲店 ストーンズ、大塚 俊之、竹崎 勲、中井 禮子、中村 勇、中武 喜久代、田中 正昭、文屋 ハナ、濱口 吉右衛門、小山 えり子、滝澤 進、伊木 常昭、マリ・クリスティーン、山本 博子、篠原 大作、藤田 美江子、清水 雅子、大木 京子、太田 祥歌

切手・書き損じハガキ等 野口、国際ソロプチミスト八女

ご協力いただいた方及び団体 ニューサンノー、(株)新橋スタンプ商会、ソフトバンクモバイル、ハビタット福岡市民の会、地球環境基金、ちよだボランティアセンター、シトリックス・システムズ・ジャパン(株)、認定NPO法人ふるさと回帰支援センター、(有)マレイアソシエイツ、岩手大学、シャンドウミュージエ、(社)日本フィナンソロビー協会、ジャパンギンギン、三井物産(株)、(公財)三菱商事復興支援財団、あおぞら銀行、(株)アイ・コミュニケーションズ、(株)ジェーシービー、(株)たんぼ農園ふるさと研究所、千代田鍛冶町郵便局、半蔵門駅前郵便局、都道府県会館内郵便局、こどもの夢ネットワーク、今井 杏奈、wara no bag、樋口 謙一郎、花島 光男、ロブソン、菊地 澄子、高橋 智美、ハビタットフレンズ東京・名古屋・仙台・九州・ユース・ハワイ、塚越 勝美、長谷川 隆徳、小泉 邦夫、白浜 靖彦、佐藤 昭二、丹波 佐和子、加藤 弘子、藤村 美保、平良 サキ子、中嶋 健治、小方 辰子、山原 則子

コイン仕分けにご協力いただいた企業・学校 (株)ジェーシービー、シトリックス・システムズ・ジャパン(株)、全国労働者共済生活協同組合連合会、三菱商事(株)

発行：認定NPO法人日本ハビタット協会(発行責任 篠原大作 / 編集責任 山本 博子)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館5階 福岡県東京事務所分室内 TEL / FAX: 03-3512-0355
E-mail: info@habitat.or.jp / URL: http://www.habitat.or.jp

デザインイラスト: 母袋秀典
2017年1月発行



HABITAT まちづくり通信 No.30

.....日本ハビタット協会.....

スマイルトイレプロジェクト

世界では24億もの人々がトイレを利用できずにいます。劣悪な衛生環境下では、常に病気のリスクがつきまとい、病気になれば、医療費等の支出が増えるだけでなく、仕事もできなくなり、収入も大幅に減ります。自宅や職場にトイレがないことは、コミュニティの発展に深刻な影響をもたらします。日本ハビタット協会は、衛生環境の改善を通して、より良いまちづくりを推進しています。



ワークショップに参加する村人たち

ケニア西部のホームベイ県において、CLTS (Community Led Total Sanitation) 手法を用いた住民の衛生意識の向上と住民によるトイレ建設を進めています。2016年11月上旬、カボンド地区カモロ村にて、保健省やCHV (Community Health Volunteer) 等と協力し住民の意識変革を促すワークショップを行いました。保健省の広報車が村を回り参加を呼びかけ、そのおかげで多くの村人と子どもが参加しました。

ワークショップでは、芝生の上に村の見取り図を描き、そこに家とトイレを書き加えていき、どの家にトイレが無いのか、また野外排泄されている場所の情報を共有しました。トイレがない世帯数は200中51世帯でしたが、それをもとに年間野外排泄される量を計算したところ、あまりの量に村人は驚いていました。その量はなんと385トン! また、病気になった場合にかかる費用を丁寧に説明し、村人は病気になるといかに生活が厳しくなるかを知ること、手洗いや清潔なトイレを使うことの大切さを学びました。

現在、村人が主体となり持続可能なトイレと手洗い場の建設が進んでいます。安心して使えるトイレと手洗い場により、笑顔あふれるコミュニティづくりを推進していきます。

女性が安心して使えるトイレ

女性にとっては、トイレはとても重要で、清潔で安全な個室を持つことができれば、月経や妊娠を安全に管理できます。特に公共施設など不特定多数の人が出入りする場所においては、清潔なトイレの設置が求められています。

日本ハビタット協会は、ケニア西部のムンザツィ学校にて女子トイレを6基建設しました。今までは女子生徒66人に対して、2基の不衛生なトイレしかなかったため、心身共に負担を強いられていましたが、新しいトイレにより安心して学校生活を送れるようになりました。

スマイルトイレプロジェクトに ご協力をお願いします

トイレ建設による衛生環境改善を通じたまちづくりを応援してください!

郵便振替

00150 - 3 - 568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口
※振込用紙に「スマイルトイレ」とご記入ください。

クレジットカード

VISA、Master Card で日本ハビタット協会 HP からご寄付ができます。

タンザニアの地震

副会長 マリ・クリスティーン



アンナ・ティバイジュカ前事務局長と一緒に

アンナ・ティバイジュカ前国連ハビタット事務局長から、9月10日にタンザニアのカゲラ地区でマグニチュード6の地震が発生し、貧困地域の多くの住民が被害を受けたと連絡がありました。

2009年に大リーグマリナーズの岩隈投手ご夫妻からのご寄付で建設した、ムゲザスクールの雨水タンクも破損しました。子どもたちの飲料水確保のために早急に修理をする必要があるため、雨水タンクの修繕支援金を送ることを決めました。

国連の発表によると、現在、世界人口の10人に一人は安全な飲料水を手に入れることが出来ず、3人に一人がトイレなどの衛生設備を持っていない状況です。日本で暮らしていると、水道をひねるだけで当たり前のように水が出ますし、誰でもがトイレを使用できます。しかし、このような国は決して多くはないのです。

昨年秋に国連で採択された「持続可能な開発目標」には2030年までに「すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」とあります。この目標の達成に私たち日本ハビタット協会では昨年度からアフリカのトイレや飲料水に関するプロジェクトに力を入れています。

皆様方のご協力を得ながら、自分たちのできることを一つずつ実現し、より良い世界を作り出していくために努力を重ねていきたいと思っております。

バレンタインデーに KUWA CHOCO を

毎年ご好評頂いている桑の葉パウダー入り生チョコレート「KUWA CHOCO」を今年も販売します！桑独特の薫りと風味をもち、豊富な食物繊維に由来する他では味わえない食感の生チョコレートです。通常の生チョコレートに比べて日持ちし、常温保存可能ですので、プレゼントにも最適です。数量限定販売のため、お早めにご注文下さい。

内容量 1箱(15個入り) 価格 1,080円(税込) 特定原材料 乳、乳化剤(大豆由来)

お申込み方法 日本ハビタット協会のHPからご注文下さい。 www.habitat.or.jp ● 電話での注文も受け付けております。03-3512-0355

「ショコラ マルシェ」に出店します！

今年も仙台市のデパート藤崎の「ショコラ マルシェ」で販売しますので、ぜひお立ち寄りください。

2017 2/2(木) → 2/14(火)

場所：仙台市 藤崎百貨店



★★ KUWA CHOCO による子どもの自立支援

仙台の桑から生まれた KUWA CHOCO による、東北の子どもの自立支援を行っています。最近テレビ等に子どもの貧困問題が取り上げられていますが、実際の子供達はもっと切迫した状況に置かれています。KUWA CHOCO の売上は、社会福祉施設と里親、自治体が互いの垣根を越えて子どもの自立を支援している「こどもの夢ネットワーク」を通して、福祉施設を出た若者の住居提供とコミュニティスペースの運営に活用されます。

KUWA CHOCO の商品ラッピングや販売には「こどもの夢ネットワーク」の関係者や子ども達が協力してくれています。関係者の雇用創出だけでなく、子ども達が社会とふれ合う機会をつくることで、子ども達が自立への道を一歩ずつ歩んでいけるように支援できればと願っています。みなさまのあたたかいご支援をお願いいたします。

子ども達が直面している状況について、こどもの夢ネットワーク代表のト蔵氏が話して下さいました。

社会的養護を必要とする子どもの自立の課題

こどもの夢ネットワーク代表 ト蔵康行

虐待や親の病気、貧困、育児放棄などさまざまな理由で実親の家庭で生活することのできない子ども達に対し、社会がその代わりとなる生活環境を用意し、子どもの育ちを保障する仕組みを社会的養護と言います。その数は、少子化にも関わらず減少傾向にはなく、全国でおよそ 46,000 人に上ります。

児童福祉法の下、基本的には 18 歳、高校卒業で措置解除となりますが、現在では、進学する場合など、20 歳の誕生日まで措置延長が認められています。里親家庭で育つ子どもの場合、解除となってもそのまま生活を続ける、あるいは、就職して自立しても、里親家庭が実家として存在し折々に帰る場所になることが多いです。一方、施設から社会へと出ていく子どもにとっては、自立は容易なことではありません。実親を頼れないケースも多く、一人暮らしにあたっての準備にと用意される支度金も十分ではありません。現在のように、雇用環境が厳しい中、一旦職を失えばたちまち住む場所さえ失いかねない状況です。また、東京都が平成 23 年に行った自立の



子どもにとって大切な「居場所」づくりを進めています。

アンケート調査によると、就職した青年の 1 年以内の離職率は、およそ 40% となっています。

進学を希望する子ども達の経済的な課題は、より深刻です。社会的養護の子ども達への進学支援を行ってくださる団体は、感謝なことに増えつつありますが、その恩恵を受けることのできる子どもはごく一部です。多くは多額の奨学金を借り、不足分はアルバイトという生活を余儀なくされ、経済的にも精神的にも追い詰められ中退へと、残念な結果になる場合も少なくありません。

子どもの貧困問題が国でも大きなテーマとして論じられ、今年度成立した改正児童福祉法を機に、子ども達の自立支援策も充実しつつありますが、まだ十分とは言えません。給付型の奨学金や学費の減免など育った環境に左右されることなく、子どもが夢を持って未来へと可能性を上げられる施策や社会の支援が必要とされています。

ラオスから子ども達の笑顔がとどきました



写真：上… トウモロコシ畑 下… 養鶏場

★★ 1日3食プロジェクト

ルアンパバン県スアンルアン学校で育てられていた鶏は、順調に育ち、子ども達の給食に提供されました。一部は村人に売り、現金収入にもつながりました。現在は、得た現金収入であらたに 100 羽を購入して育てていく予定です。

農業局職員の指導を受けながら 400 羽の養鶏を始めましたが、学校を運営しながらの養鶏に先生達はかなり悪戦苦闘したそうです。しかし、その経験の中で、先生からさまざまなアイデアが生まれました。100 羽ほどの養鶏であれば、給食として育てつつ、一定数売ることによって持続的に養鶏を行えます。また、費用が多くかかる鶏の餌についても、学校の敷地内で飼料用のトウモロコシを栽培し、自給を目指すなど、先生たちがこのプロジェクトに意欲を注いでいます。

親を失うなど様々な事情で寮生活を送っている子ども達に対し、ラオス政府は支援を行っていますが、昼と夜の食事を賄うだけで精一杯です。子ども達がきちんと栄養バランスの摂れた食事をとり、勉強に励めるよう、日本ハビタット協会は支援を続けていきます。

★★ 教科書プロジェクト

ラオスのルアンパバン県内の小学校 5 校に教科書と本を届けました。今まで 2～3 人の生徒で 1 冊の本を共有していましたが、教科書が全員に行き渡ると、勉強に集中でき、楽しく授業を受けられるようになりました。先生にとっても授業をしやすくなり、授業がはかどり、教育環境はとて良くなりました。家に教科書を持って帰れるようになった生徒は、自宅で復習や予習をできるようになり、学力の向上につながっています。

文庫や小説等を送った学校では、放課後等に図書室や教室で本を読めるようになりました。読書を通してさまざまなことを学ぶことも、子どもの創造力を育む上で重要となります。日本ハビタット協会は、教科書や本によって教育環境を改善し、次世代を担う子ども達が知識や教養を身に付け、より良いコミュニティの発展を支援していきます。



自分の教科書があれば勉強も楽しくなります

子ども達の笑顔があふれるまちづくりを応援して下さい ● 郵便振替 00150-3-568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口
※ 振込用紙に「子どもの笑顔」とご記入ください。
● クレジットカード (VISA, Master Card) で日本ハビタット協会 HP からご寄付いただけます。

ハビタットサンタ



志津川保育園に届けられた給食用の食器

毎年子ども達はハビタットサンタが来るのを楽しみにしています。今回のハビタットサンタは、石巻市立釜小学校の子ども達 407 名には、冬休みに好きな本を読めるように全員に図書カードを、南三陸町志津川保育園には、東日本大震災により給食用の食器が壊れてしまい別々の容器で給食を食べていたため、給食用の食器を届けました。志津川保育園の御礼の手紙には「震災以来バラバラの食器での給食が続けてきましたが、これで全員そろって楽しい給食の時間を持つことができます。いつまでも忘れないでいてくださることに感謝しています。」と書かれていました。

この事業に、東京の PwC 税理士法人の職員と家族の方々が支援して下さいました。たくさんの方々のあたたかい想いの詰まったプレゼントで、子ども達が寒い冬を元気に過ごしてほしいと願っています。

ハビタットクイズ 紙幣に関する問題だよ！



Q1

アメリカ100ドル札は、偽造防止のために、新しい特徴を取り入れたんだよ。その特徴とは何かな。答えは2つ。次の中から選んでね。

- ① 水につけると色が変わる
- ② 角度を変えると絵の色が変わる
- ③ 角度を変えると絵が消えて、100の文字が表れる
- ④ 紙幣を動かすと文字が動く

